

令和8年  
4月号

# 太陽の都 だより



発行所 ●医療法人社団 博栄会 介護老人保健施設「太陽の都」〒115-0051 東京都北区浮間 2-1-13 TEL03-3558-8881 FAX 03-3558-8831

責任者 右近

## 日常の様子

「ひな祭り」

三月三日はひな祭りでした。施設一階フロアにも雛人形を飾らせて頂き、ご利用者様も雛飾りを背景にして一緒に写真をお撮りになっておりました。

施設正面玄関の並びには、毎年「梅の花」が咲いております。今年も綺麗に花を咲かせました。が、強風だった事もあり、例年に比べて花も早くに散ってしまいました。施設の中も天井飾りなどで飾りつけし、三月らしい雰囲気となっております。



## イベント報告

三月の中旬、テイクアで板橋区の熱帯環境植物館へのお出かけイベントを開催致しました。この植物園は地下鉄の高島平駅近くにある植物館です。夏休みなどには子供でも楽しめるイベントを開催しております。「太陽の都」から車で二十分ほどで行くことができるお出かけスポットの一つです。館内は東南アジアの熱帯雨林をモチーフにしており、植物だけでなく、海の生き物なども見ることが出来る施設となっております。大人も子供も楽しむ事ができる施設という事もあり、お休みの日は親子連れで賑わっております。今回のイベントの様子はインスタグラムでもアップしておりますので、是非ご覧ください。



「端午の節句」

五月五日は「こどもの日」「端午の節句」ですね。子供たちにとっては学校も連休になる為、待ち遠しいイベントかと思えます。特に男の子にとっては格好良い「兜」を飾ってもらえる特別な日でもありますね。それ以外にも、「鯉のぼり」がありますが、小学校などでは、とても大きな鯉のぼりを飾っているのが印象的です。端午の節句の五月五日を、現代では「こどもの日」として親しんでいる方も多いでしょう。江戸時代からこの日は公儀の祝日として定められており、武家では跡継ぎの男子の誕生は最大の慶事であったため、端午の節句に兜や幟旗を飾って盛大に祝ったと言われております。こうして、特に男の子の誕生を祝い、その健やかな成長を祈る行事として普及しましたが、一九四八年にはこの日を国民の祝日「こどもの日」（こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する）として改めて制定されたようです。



「二人主治医制」

赤羽中央総合病院では、地域医療連携の取り組みとして、二人主治医制を推進しています。「二人主治医制」とは、ひとりの患者さまに対し、当院の医師と、地域の「かかりつけ医」が連携して継続的な治療を行います。健康や病気について気になることは、ご近所の「かかりつけ医」に健康管理（予防・治療）を行っていただき、入院や専門治療・検査などが必要とされた場合に、患者さまをご紹介いただき、当院で治療・検査を行います。その際に、「紹介状（診察情報提供書）」をいただくことにより、かかりつけ医と当院担当医が治療に関する情報を共有いたします。そして治療や状態が安定されましたら、また「かかりつけ医」で健康管理していただけます。また、地域の「かかりつけ医」を持たない患者さまや救急を受診された患者さまについては、病態によって、地域の医療機関に逆紹介する場合もございます。患者さまが住み慣れた地域で安心して医療を受けられるよう、地域の病院・診療所・介護施設等と連携し、それぞれの医療機関の特長を活かし、患者さま中心の地域に密着した医療の実現をめざします。

